

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所 ・ 小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホーム公楽苑ほほえみⅡ	評価実施年月日	平成21年10月11日
評価実施構成員氏名	坂本悦子(総括責任者)・長谷幸恵(管理者)・中川幸夫・清田誉代・阿部久美子・児島留美子・川代美佐子 ・伊東 学・大和裕見子		
記録者氏名	坂本悦子	記録年月日	平成21年10月18日

北海道

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
<p>○地域密着型サービスとしての理念</p> <p>1 地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>認知症の方でも人として一人一人がお互いに助け合い家庭的な環境の基、自由に楽しく 日々生活を作り上げるよう努めていく。</p>		<p>なじみの関係を重んじ楽しく、個々の自由を大切に生活を作り上げていく様務めています。</p>
<p>○理念の共有と日々の取組み</p> <p>2 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>職員の努力の向上を意識し、ご本人、ご家族の意向をくみ取っているかを職員ミーティング等で確認している。</p>		
<p>○家族や地域への理念の浸透</p> <p>3 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる。</p>	<p>近くのコンビニ等の買い物、散歩同系施設公衆苑訪問ボランティア(保育所園児)など交流を楽しんでいます。</p>	○	<p>町内会行事の参加・神社祭等の参加など近隣の行事参加</p>
2. 地域との支えあい			
<p>○隣近所とのつきあい</p> <p>4 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>畑などを通し近隣の方々に挨拶など声掛けするよう意識している</p>		
<p>○地域とのつきあい</p> <p>5 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>運営推進会議等を通じ町内の皆様及び家族様に施設の生活状況及び各行事などをおたよりを配布しお知らせをしています</p>		<p>今後も継続していきます 保育所の運動会総合練習の見学や訪問にて学芸会等の鑑賞など地域と連携し取り組んでいます。</p>
<p>○事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>6 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>			

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7 ○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。	旧施設での安全性及び形態などの改善等にて自己評価及び外部評価の実施を疎かにしていました	○	今後の課題として自己評価及び外部評価等職員全体で取り組んでいきます
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	施設の状況を近隣に発信し、現在対面している問題及び行事の参加等連絡など今後の対策に生かして居ります	○	職員の意識を高め継続していきます。
9 ○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。	事業所の代表とし法人の総括管理者が書類等の提出及び相談等にて地域包括役場担当者に相談しております。	○	町担当者等へ必要な連絡や道政及び町のサービスを検討生かし利用者様に提供していきたいと思います。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。		○	研修及び外部講習等を利用し学んでいきたいと思います。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。	職員セミナー等の参加により、職員間及び施設内において、体罰・虐待、拘束等廃止に取り組んでいます。	○	施設としての確立した方針及び家族に対しての説明と理解について努めて行きます。
4. 理念を実践するための体制			
12 ○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。	入居希望者及び見学者に対し施設の説明現在問題になっている状況の相談や「運営規程」「重要事項説明書」「入居契約書」の説明及び今後の説明など取り組んでいます		今後も取り組んでいきます

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
13 ○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営懇談会、面会時における家族の相談、利用者様の要望など反映出来るよう努めて居ります。		職員全体に要望及び苦情等が伝達及び解決実行出来るようにいたします。
14 ○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている。	家族の面会の際最近の生活状況及び変化など報告、急変時には緊急にて連絡報告しています、また施設のおたよりにてメッセージを添え毎月発信しています。		今後も継続していきます。
15 ○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	運営懇談会、面会時における家族の相談、利用者様の要望など反映出来るよう努めて居ります。		職員全体に要望及び苦情等が伝達及び解決実行出来るようにいたします。
16 ○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	運営方針にて職員の意見等話し合いをしていますが、取り組み繁栄がなかなかスムーズに行われていません。	○	即時に反映し利用者様に対しより良いサービス提供出来るよう取り組んでいきます。
17 ○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	緊急時及び施設の状態等に合わせ迅速に職員の協力の基対応しています。		
18 ○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	利用者様の状況を熟知している職員等の異動、業務変更は最小限にしております。大きな異動等は、職員の希望退職以外ほとんどありません。		

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19 ○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	職員セミナー等の参加により、職員の知識、認識を向上するようにしています	○	必要に応じて外部職員研修等の参加に取り組んでいきます。
20 ○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。	地域包括センター主催等の活動には参加をしていますが、かなり少ない状況です。	○	今後同じ問題等を抱えている施設同士ネットワークを築いていきます。
21 ○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。	火災消火設備スプリンクラー等の設備や見透視の良い空間作り、ゆったりとした空間などとの事態に対応する時にゆとりをもった判断が出来るよう検討しています。	○	職場での業務内容及びケアの状況において今後話し合いの時間を設けリスクマネジメントについても統一した考えを築いていきたいと思ます
22 ○向上心をもって働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。			
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23 ○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。			
24 ○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。	事前面談等にて日々の生活状況など観察を行いこまめ声掛けを持って本人自身の気持ちを傾聴するよう努めています		今後も継続していきます

項目		取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	疑問質問、求めている事などが話しやすくなる関係作りの努めていますまた心の思いを語りあえる様に心掛けています。		今後も継続していきます
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。			
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	現状でのサーブス等提供出来る事を明確にご説明し且つ他の機関のサービス利用、情報等も合わせて紹介するようしております。		今後も継続していきます
28	○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	日常の様子及び日頃の利用者様の様子をこまめにお知らせ出来るよう心がけています		
29	○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	施設及び他事業所との行事などのお誘い及び参加にて利用者様本人とご家族様が共有出来る時間を多く持てるよう努力しております。	○	今後も強く取り組んでいきたいと思ひます又他事業所との交流なども続けて行きたいと思ひます。
30	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	入居者様とのコミュニケーションから友人、趣味など情報を得て今後の生活及び趣味を伸ばしていけるよう心がけています。		

項目		取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
31	○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。			
32	○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。			
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	共同作業、レクリエーション、音楽鑑賞、ゲーム、など利用者様同士の関わりを深めて頂き仲間意識が向上出来るような環境及び行事等に努めて行きます。		利用者様同士がお互いに仲間として認め合い出来るようケアを行いたいと思います。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時にこれまでの生活歴や暮らし方、環境等を情報収集し環境の変化が利用者様の心身に負担とならない様努力しております。		写真、絵画、衣類、家具、など以前から使用及び慣れ親しんでおられる品を継続して使用し入所前の生活環境の延長線となるように支援していく様取り組んでいきたいと思っています。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	会話や本人の好みの品、場所等個別対応を行い状況の把握に努力しています。		出来るだけ個々のご要望を日常に反映出来るよう取り組んでいきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	現在計画作成担当者制作の計画を実行して行くことで、職員全体、チームでの話し合いによる介護計画の作成までは、到達しておりません。		アセスメントを行う際より多くの情報を集め職員の意見アイデア等お取り入れた介護計画の作成に取り組んでいきます。

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
37 ○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	特変があった場合及び経過観察の期限にてケアプランの見直し及び再検討に心掛けています。		
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	個別の記録をケア記録として介護用ソフトを使用すると共にケア記録簿及び業務連絡簿に記入しています。		記録をこまめに取り全体で情報を共有しケアプランに役立てていきたいと思っています。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。			
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。			運営推進会議及び運営懇談会等を活用し家族及び地域の方々のご理解を頂き連携が持てるよう取り組んでいきたいと思っています。
41 ○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。			市町村とのコミュニケーション等を多く持ち地域の情報を収集し活用して行きたいと思っています。
42 ○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。			関わりを多く取り協働し行っていきたいと思っています。



項目	取り組みの事実(実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
<p>43 ○かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>ご本人、ご家族と主治医の先生と話し合いを設けて納得のいく医療を受けられるよう支援しております</p>		
<p>44 ○認知症の専門医等の受診支援</p> <p>専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。</p>	<p>定期的に受診を継続しています。</p>		
<p>45 ○看護職との協働</p> <p>事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。</p>	<p>訪問看護と連携をとり随時相談等を行い利用者様の健康に配慮しています</p>		
<p>46 ○早期退院に向けた医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。</p>	<p>主治医の先生と入院先の病院担当者及びソーシャルワーカーと連絡相談を行い、施設での受入体制を整え早期退院にむけ努力しています。</p>		
<p>47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。</p>	<p>入居様ご本人とご家族、主治医の先生と何度も話し合いをもち状況に応じて一番良いケアを見出し各部署関係機関と連携をとり取り組んでいます。</p>		<p>医療機関及び御家族との連携を重視し取り組んでいきたい</p>
<p>48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援</p> <p>重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。</p>	<p>入居様ご本人とご家族、主治医の先生と何度も話し合いをもち状況に応じて一番良いケアを見出し各部署関係機関と連携をとり取り組んでいます。</p>		<p>医療機関及び御家族との連携を重視し取り組んでいきたい</p>

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
<p>49 ○住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>グループホームでの生活状況及びこまかな情報を関係者に伝達し環境の変化に伴うダメージの防止に努めています。</p>		
<p>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p>			
<p>1. その人らしい暮らしの支援</p>			
<p>(1)一人ひとりの尊重</p>			
<p>50 ○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>プライバシーを損ねる内容等の会話などまた、ケアの際の声掛けの内容についても個人のプライバシーを尊重するよう心掛けています。</p>		<p>接遇に対するマナー等職員一丸となり取り組んでいきます</p>
<p>51 ○利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>心掛けて日々努力しています</p>		<p>細かな事項についても記録に残し情報を共有し支援に取り組んでいきたいと思えます</p>
<p>52 ○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>安心した生活をして頂けるようご本人のペースに合わせて支援しています</p>		
<p>(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>53 ○身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>定期的な理美容及び衣類の損傷、女性においては、化粧品等の残及び管理など支援し鏡に映る御自分の姿等納得頂けるよう努力しております。</p>		<p>衣類については、御自分で選んで頂いています</p>
<p>54 ○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>献立やおかずの内容や旬の食材など細やかな内容の説明や好みの食べ物の話題など会話を楽しみながら支援をしています</p>		

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
55 ○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	ご本人、の好みのお菓子類等は、ご家族様及びご本人より情報及び要望をお聞きしご本人自室又はホーム側でお預かりし提供させて頂いております。		
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	ご本人の要望にて、自尊心を傷つけない様配慮し支援しております又日々の生活リズムに定期的に促し誘導など行っております。		
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	ご本人確認のうえ健康状態等を観察しお一人ずつ入浴を楽しんで頂けるよう対応しております。		
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	ご本人の要望にて、日々の生活リズムに合わせて行っております又馴染みの寝具の活用等を行っております。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	共同作業を少人数対応にて行って頂けるようにしております。作業内容は、調理の下準備及び洗濯作業にて洗濯物のたたみ片づけ作業等。		
60 ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	ご本人様自己管理使用出来る方は、動作等を観察し出来るだけ現状維持出来るよう買い物等同行し支援しております。		

項目		取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	他事業所の畑及び花壇、ご近所の散歩など健康状態及び天候の状況に応じ行っております	○	広いテラスが有りますので、今後お茶など楽しんで頂けるよう活用して行きたいと思います
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	他事業所の行事などの参加及び家族を交えた食事会など少ないですが行っております。	○	ご家族様のご理解及びご協力を頂き、外出及び外食等の機会を増やしていきたいと思います。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	ご本人の要望に応じ対応支援しております		
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	気軽訪問出来るようにしております。		今後も継続して行きます
(4) 安心と安全を支える支援				
65	○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	職員セミナー等の参加により、職員間及び施設内において、拘束等廃止に取り組んでいます。		個々にベッドの高さなど対応しております又今後リスクマネジメント等職員間で話し合いを設け拘束をしない安全なケア等を随時検討実行し記録にし御家族様のご理解を頂けるよう努力していきたいと思ひます。
66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	居室においては、施錠設備が無く昼夜問わず施錠しておりませんが、玄関につきましてはセキュリティの面で施錠しております。		

項目	取り組みの事実(実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
<p>67 ○利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>共有スペースにおいては、死角になる範囲の巡回や、居室内においても定期的巡回を実行しております。</p>		<p>トイレ使用中においては、個人別にてナースコールの使用及び扉外にて細かな声掛けを行っております。声掛けについては、プライバシーに心掛け取り組んでいきたいと思っております。</p>
<p>68 ○注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>はさみ、針等の取り扱いについては、個々に行動及び判断、理解等を注意深く観察し見守りの中使用して頂いております。</p>		
<p>69 ○事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>各事業所を通じ各会議参加にて、ヒヤリハット及び事故対策委員会の会議内容、事例検討又、職員セミナー等の勉強会にて職員の意識レベルを高め作業の確認伝達緊急時の対応マニュアルの確認等定期的に行っております。</p>		<p>急変対応報告書、事故報告書の提出及び事例検討にて対応策の検討などを明確にし同じ事を繰り返さない様取り組んでいます。</p>
<p>70 ○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>各事業所を通じ各会議参加にて、ヒヤリハット及び事故対策委員会の会議内容、事例検討又、職員セミナー等の勉強会にて職員の意識レベルを高め作業の確認伝達緊急時の対応マニュアルの確認等定期的に行っております。</p>		<p>急変対応報告書、事故報告書の提出及び事例検討にて対応策の検討などを明確にし同じ事を繰り返さない様取り組んでいます。</p>
<p>71 ○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>各事業所を通じ各会議参加にて、ヒヤリハット及び事故対策委員会の会議内容、事例検討又、職員セミナー等の勉強会にて職員の意識レベルを高め作業の確認伝達緊急時の対応マニュアルの確認等定期的に行っております。</p>		<p>災害対策マニュアル及び災害時緊急備品の見直しを定期的に取り組んでいきたいと思っております。</p>
<p>72 ○リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>職員全体において統一された方針を確立し御家族様にご説明統一された対応が出来るようにしております。</p>		<p>随時御家族様に状況等をご説明し取り組んでいます。</p>

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日定期的に健康チェック等を行い記録し情報を共有しています、尚異常異変については、敏速に対応しております。		
74 ○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	服薬の内容、薬の内容等把握し看護と主治医との連携にてお薬を管理し服薬を支援しております。		特変時及び急変時対応において、服薬状況等の情報を病院医師に提供出来るよう取り組んでおります。
75 ○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	自然は排便が出来るよう個々の水分補給量の把握と体を動かす事(ストレッチ体操)を取り入れ記録にて情報を共有し排便の無い日の日数を確認支援しております		
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	毎食後洗面所にて、口腔ケアの誘導及び義歯洗浄を行っております		定期的の義歯の除菌等を行っております又歯科受診の必要な利用者様には、御家族に確認を取り受診をし治療を受けて頂きました受診が困難な方は訪問歯科診療をお願いし治療して頂いております。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	事業所統括しております管理栄養士の献立のもと一日役1,500kcalを基準に提供させて頂いておりますが、個々の食事摂取能力など状況に応じた形態(刻み、ミキサー)にて支援させて頂き、水分補給量及び食事摂取量は、記録に取り情報を共有しております		食事は極力自力摂取が出来るよう補助具の使用声掛けなど取り組んでいます
78 ○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウィルス等)	看護グループ主幹の感染症予防委員会にて近隣の感染症の状況及び対策等の内容を実行しております。		現在流行しておりますインフルエンザ感染予防対策として、近親者に感染者がおられる御家族様の訪問の自粛及び職員の家族で感染者が出た場合は、勤務の自粛(感染の恐れが無いことを受診し診断して確認してから勤務再開)又不特定多数の人ごみに向かない、外部からの感染を防ぐ、受診の際マスクを着用、帰ってきたら手洗いうがいの徹底を行っております。

項目	取り組みの事実(実施している内容・実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
79 ○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	使用している調理器具は、洗浄及び煮沸消毒管理しています、又調理場はいつも清潔で整理整頓をしています。		食材の管理及び調理方法など衛生面に係る事は、管理栄養士の指導の基随時行っております。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり			
80 ○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	玄関に手洗い場を設置し手洗い除菌と玄関にベンチを設置して靴の履き替えが安全に行える様配慮しております。	○	親しみが持てる玄関でインフォメーション等の充実に取り組んでいきたいと思ひます。
81 ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自然採光を十分取り入れ明るい空間 広々とした空間になっています	○	生活環境の中安らげる空間作り(手作りの飾り付け)に取り組んでいきたいと思ひます。
82 ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。		○	施設移設後間もないため今後個々の居場所及び利用者様同士で共同作業等共有出来るよう取り組んでいきたいと思ひます。
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	長年使用していた品物を極力使用して頂きなじみのある居室作りに心掛けています	○	入所以前の生活環境及び週間等を出来るだけ取り入れた環境作りに取り組んでいきたいと思ひます。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のだよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	冬季間の暖房設備がセントラルヒーティングを使用していますので、湿度及び室温を把握し強制換気設備を利用又は自然換気にて調整を行っています	○	冬季間は特に乾燥が進み加湿器を使用もしくは洗濯物を使用し調整に取り組んでいます

項目	取り組みの事実(実施している内容 ・ 実施していない内容)	○印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容(既に取り組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>○身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>共用部分に手すり等を設置し歩行及びつまずき防止に床の状態および歩行動線上に障害となる部分の異動及び歩行補助具等に使用により行動範囲の拡大に心掛けています。</p>	
86	<p>○わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>日々生活にて使用している物を慣れ親しんだ物を使用して頂き動作及び持ち物が御自分の物である理解力及び使用方法について支援しています。</p>	
87	<p>○建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		<p>○ 今後ベランダ(テラス)の使用を検討し有効に活用して日々の生活にて利用者様が楽しんで頂ける環境を作るよう取り組んでいきます。</p>



V. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない ②
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない ③
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ③
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ③
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ④
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ③
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	①ほぼ全ての利用者 ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんどいない ③
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	①ほぼ全ての家族 ②家族の2/3くらい ③家族の1/3くらい ④ほとんどできていない ③

V. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない	④
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない	③
98	職員は、生き生きと働けている	①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない	①
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない	②
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどいない	②

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)

現場の介護員が常に意識したいと心掛けている事

- ①家族的な環境作りに努める
- ②利用者様同士が馴染みの関係を保ちお互い協力、助け合い笑顔の絶えない日々であること
- ③個々に意志反映出来る環境作り(外出、サークル活動、趣味の会)